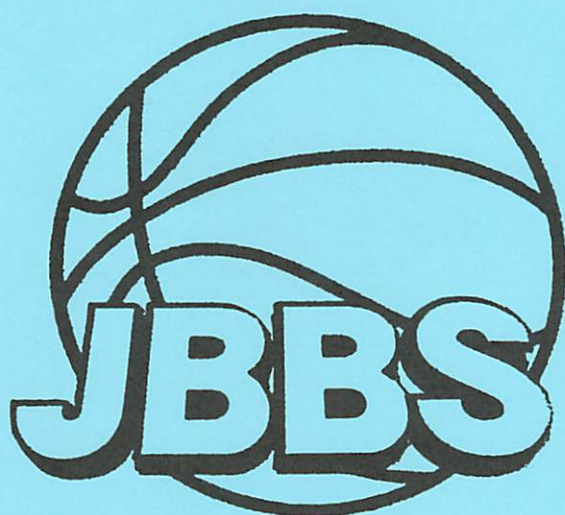


バスケットボールプラザ

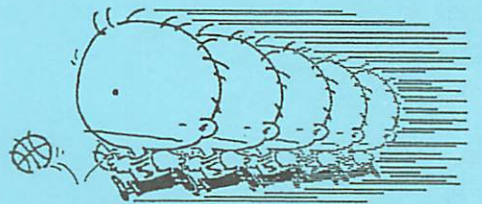
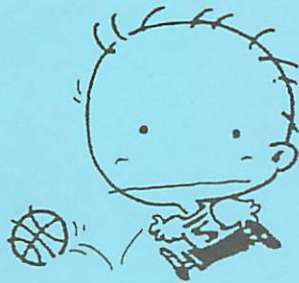
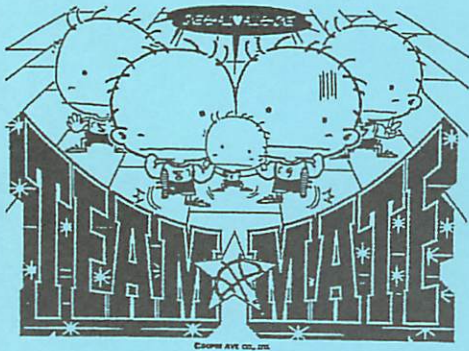
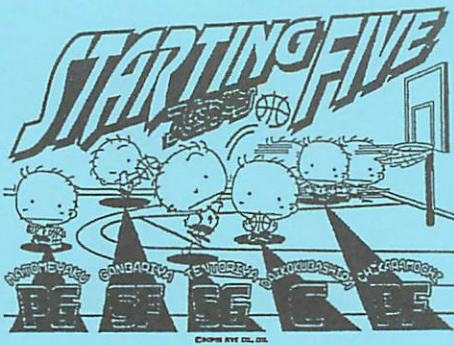
Basketball Plaza

No:40



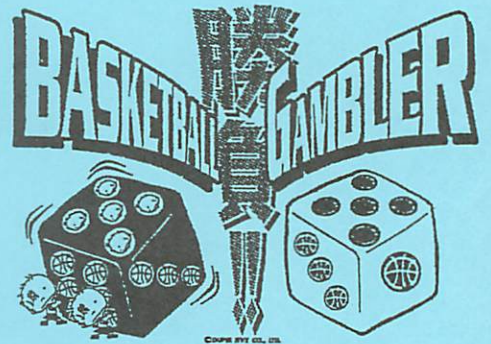
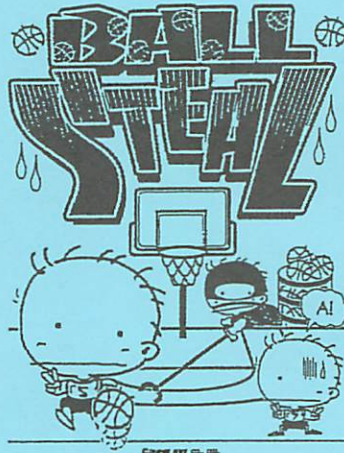
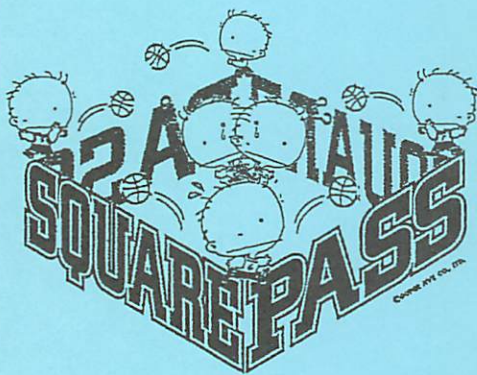
2009年1月

NPO法人 日本バスケットボール振興会



DUPER®

表現の自由人。



DUPER®

デューパーファイブ株式会社
〒130-0023 東京都墨田区立川3-3-5
TEL . (03)3632-7045 (代表)
FAX . (03)3632-8327

URL : <http://www.duper.co.jp>

E-mail: info@duper.co.jp

突 目



手にとった瞬間、キミは驚くはず。
その翼のような軽さとしなやかさに。
1gでも軽くするために、あらゆる素材を
厳選し構造を何度も検証し
そして遂に、軽量でありながら
優れたクッション性と包み込む
ようなフィット感を実現させた。

夢は必ず叶うと信じるための1足。

ウエーブホープネオ

希望という名の翼、新登場。

WAVE HOPE NEO



キミに翼を。

目 次

- 女子U-18チームアジアを制す 3
F I B AアジアU-18女子バスケットボール選手権大会優勝
- 恒例の秋季講演会と交流会開催 6
- スペシャルオリンピックス 13
第1回バスケットボール交流会を支援
- 一枚の写真から . . . 昭和7年のできごと 15
- 李想白氏 17
優れたバスケットボールの指導者を思う
- 会員だより
バスケットボール・あれこれ 紺野 仁 . . . 19
タカガ高専、サレド高専 岸本 三男 . . . 21
私とバスケットボール 柴田 健司 . . . 23
楽しく観戦出来るバスケットボール 池田 敦子 . . . 25
- 第60回全日本大学選手権記念大会 27
- 第39回全国高等学校選抜優勝大会の成績 32
- オールジャパンの結果 38
第84回天皇杯・第75回皇后杯全日本総合バスケットボール選手権大会
- 訃報 44
- プラザ こぼればなし 47
- 事務局だより 48

女子U-18チームアジアを制す

—FIBAアジアU-18女子

バスケットボール選手権大会優勝—

[編集部]

平成20年11月2日から9日まで、インドネシアのメダン市で開催された上記大会において、U-18女子日本代表チームが決勝で中国を破って優勝した。このところあまりいい話題が無かった日本バスケット界にもたらした、明るい話題である。

以下大会出場チームと日本代表チーム、戦績についてご紹介する。

[出場チーム]

レベルⅠ

中国 日本 韓国 チャイニーズ・タイpei マレーシア インド

レベルⅡ

インドネシア タイ フィリピン シンガポール ホンコン・チャイナ カザフスタン

[日本代表チーム]

主なスタッフ

	氏名	所属
チームリプレゼンティブ	諸山 文彦	日本協会理事
スーパーバイザー	講武 達雄	神奈川県立旭高校
ヘッドコーチ	一色 建志	聖カタリナ女子高校
アシスタントコーチ	林 慎一郎	福井県立足羽高校
アシスタントコーチ	渡邊 勝也	札幌山の手高校

選手

No	氏名	P	身長 (cm)	年齢	所属
4	伊藤 恭子	PG	161	18	デンソーアイリス
5	岡本 彩也花	PG	160	17	桜花学園高校 2年
6	阿部 雪音	SG	170	17	聖カタリナ女子高校 3年
7	大沼 美咲	SF	176	18	山形市立商業高校 3年
8	間宮 佑圭	C	183	18	東京成徳大学高校 3年
9	淀野 潮里	SG	170	18	土浦日本大学高校 3年
10	元山 夏菜	SF	181	18	昭和学院高校 3年
11	濱口 京子	PF	181	18	聖カタリナ女子高校 3年
12	山本 千夏	SF	175	17	東京成徳大学高校 2年
13	水島 沙紀	SG	168	17	桜花学園高校 2年
14	篠原 恵	C	184	17	東京成徳大学高校 2年
15	渡嘉敷 来夢	PF	191	17	桜花学園高校 2年
	平均		175		

P-ポジション：PG-ポイントガード、SG-シューティングガード、

SF-スモールフォワード、PF-パワーフォワード、C-センター

年齢、所属は平成20年11月10日現在

[試合結果]

予選ラウンド

11月2日(日)

日本 96—67 チャイニーズ・タイペイ

11月3日(月)

日本 90—50 マレーシア

11月4日(火)

日本 78—65 韓国

11月5日(水)

日本 111—34 インド

11月6日(木)

日本 87—71 中国

以上レベルIにおける予選リーグの結果、全勝で1位となり予選リーグ上位4チームによる決勝トーナメントへ進出した。

準決勝

11月7日(金)

日本 90—53 チャイニーズ・タイペイ

日本は決勝進出と2009年に開催されるU-19世界選手権出場獲得を掛け、予選リーグ4位のチャイニーズ・タイペイと対戦。相手を寄せ付けず圧倒的な勝利を収めた。

第1ピリオド、試合開始直後、#6阿部の速攻が決まった日本は、さらに阿部の3Pシュート、#15渡嘉敷のゴール下シュートなどで先行する。チャイニーズ・タイペイは攻め手を欠き得点が伸びない。日本は22-12で第1ピリオド終了。

第2ピリオド、日本は#14篠原の連続得点などでこのピリオドも主導権を握る。渡嘉敷の速攻、#10元山のドライブインなど波状攻撃を仕掛け、守っては相手の得点を8点に抑えて、日本48-20の28点差で前半を終了。

第3ピリオド、後半建て直しを図るチャイニーズ・タイペイは積極的な攻撃を見せる。日本は#5岡本らのスピードある攻撃で追従を許さず、日本67-37の30点差をつけて最終ピリオドへ。

第4ピリオド、日本は#11濱口のドライブシュートで始まり、#8間宮のインサイドプレイで加点し、更にリードを広げる。チャイニーズ・タイペイはなす術無く後退。結果的に日本が90-53で快勝し、決勝進出とU-19世界選手権の出場権をこの時点で獲得した。

決勝

11月9日(日)

日本 90—87 中国

日本は初優勝をかけて、今大会6連覇中の中国と対戦。序盤は一進一退の展開。前半は中国に13点のビハインドを負ったが、後半開始早々に一気に追いついて一時は逆転、終盤の競り

合いをも制して勝利し、今大会の初優勝を飾った。

第1ピリオド、開始から一進一退の展開が続き両者譲らず、しかし終盤中国が足を絡めた速い攻撃を見せ、21-24と中国3点リードで終わる。

第2ピリオド、このピリオドに入っても形勢は変わらず、重い展開が続く。中国はボールへの激しい執着心を見せてそこからシュートチャンスを生み出し、リードを広げる。日本は中国に主導権を握られて38-51と13点のビハインドで前半を終了。

第3ピリオド、追う展開となった日本は出だしから渡嘉敷が奮起、#5岡本のドライブインも含め、開始3分半で1点差まで詰め寄りその後逆転した。中国も冷静にシュートを決めて対抗しようとするが、流れをつかんだ日本が#10元山の3Pシュートで形勢を逆転し、日本が69-61の8点リードで最終ピリオドへ。

第4ピリオド、第3ピリオドの流れとはうって変わり、日本は中国に4連続得点されてリードを失う。その後は点の取り合いで時間が過ぎていく。残り32秒で同点から日本は#15渡嘉敷がドライブインして2点リードする。その後の中国の攻撃をしのいだ日本は#10元山がダメ押しフリースローを決めて3点差で逃げ切った。

この結果日本は、アジアにおいてこの大会で6連続優勝の中国を破り、全勝して初優勝という素晴らしい結果を残すと共に、2009年7月にタイで開催される「第8回FIBA U-19女子バスケットボール世界選手権大会」の出場権を獲得、アジア地区1位での出場となった。

4年後のオリンピック出場を考えると、現在のU-18の選手たちが中心となることはほぼ間違いないだろう。アクシデントに会わないようしっかりと強化して、次の大会に臨んで欲しいものである。バスケットボール界で久しぶりの明るい話題を提供することができ、頑張った選手やスタッフに感謝したい。

【レベルI最終順位】

優勝	日本
第2位	中国
第3位	韓国
第4位	チャイニーズタイペイ
第5位	マレーシア
第6位	インド

プラザ こぼればなし

- ◇ 昨年は師走に入るや、いくつかのスポーツ種目でトップクラスの実業団チームが休廃部するというニュースがあった。近頃の不況で生じた雇用の問題はチームを抱える企業にとっては厳しい現実がある。大企業のトヨタ自動車やパナソニックも然り、バスケット界も例外ではない。特に、製造業ではプロ契約を結ぶ監督・選手が多い場合、いくらチームの成績がよくても、一般社員から見てスポーツチームの存続が経費カットの対象として真っ先に槍玉にあがるであろう。日本の最高レベルの選手がトップリーグでそのスポーツに専念できる環境を得るためにはどのようにすればよいであろうか。
- ◇ 日本リーグで観客を魅了するゲームは、やはりトッププレイヤーを擁し力の拮抗するチームの衝突にあると思う。その実現のために、トッププレイヤーの獲得が比較的容易な大企業所属のチームは、その存続のため、監督をはじめとする全てのメンバーが一般社員の皆さんに愛され支援を得ることが必須ではなかろうか。更に地元の皆さんからも支援が得られれば、チームの消滅が避けられるだけでなく、リーグの盛り上がりも期待できる。こうしたことの実現に各チームは懸命に努力されていると思うが、是非、その現状を多くの皆さんに見える形で示して頂きたい。振興会でも、積極的に支援するべきではなかろうか。
- ◇ 年が明けて、オールジャパンが開催された。初日の元日から応援団を主とする観客が観客席を埋め、盛況であった。毎年のことながら、力の差が大きな日本リーグチームに敢然と立ち向かう精一杯のひたむきなチームの姿には心を打たれ、声を大きくして応援したものである。特に、今後のオールジャパンにおいて、将来を担う学生が旋風を巻き起こすことを期待してやまない。
- ◇ 最近高校にも留学生の波が押し寄せ、特に私立高校には多く見られる。バスケットボールにおいても例外ではなく、センターに留学生を擁するチームが増えてきた。日本のバスケットの強化を考えると、高校における留学生の存在はいかがであろうか。彼ら留学生が日本の大学へ進学し、将来日本のバスケットの強化発展に貢献してくれれば良いが、実情は必ずしもそうではない。噂ではあるがセネガルあたりから留学生を呼び寄せて、日本の高校チームに紹介するブローカーもいるとか。
- ◇ オールジャパン天皇杯に初出場となった横河電機は、昨年12月25日の朝日新聞東京版で紹介された実業団チーム。その記事によれば選手もスタッフも普段は100%仕事をしながらのアマチュアで、週3日の練習も仕事を終えた午後7時から、東京三鷹にある体育館で行っている。練習には遠いあきるの市にある工場などから1時間以上もかけて通う選手もいるとか。大会では2回戦で慶応義塾大学と走りあって100点ゲームを展開し、大健闘の末敗退した。天皇杯出場について「夢であり悲願だった」と語るチームに拍手を贈りたい。

事務局だより

- 会費未納の方へ
3月の期末も近づいてまいりました。個人会員で年会費を未納の方は早めに納入くださいますようお願いいたします。また、月刊バスケットボール誌を購読の方は、購読一部負担金をお忘れのないようお願いいたします。納入先など別途お知らせを同封しました。
- 現在事務所は、他のNPO法人「ピースキッズサッカー」（以下PKS）と同居しておりますが、大変順調に事務所が運営されています。PKSは、パレスチナ、日本、イスラエルの青少年の交流を通じて、平和友好のために活動している団体ですが、その資金の一部に充てるため、書き損じハガキの寄付を募っております。会員の皆さんで書き損じのハガキをお持ちの方がおられましたら、事務局までご寄付くださいますようお願いいたします。
- 振興会ホームページのアドレスが変更になりました。
新しいアドレスは次のとおりです。
<http://www.jbbs.jp/>

なお、入会の案内や手続きなどもホームページ上で可能となっておりますのでご活用ください。

お詫びと訂正

[編集部]

第39号の記事中、次の箇所が間違っていました。関係者にご迷惑をおかけしましたことをお詫びしますと共に、下記の通り訂正させていただきます。

記

7P 「白夜のオリンピック 幻の大森兵蔵を求めて」
書評 水谷 豊 ——> 書評 広田知孝
追加 —————> 著者 水谷 豊
抹消 —————> 文末 [振興会会員・日本協会理事]

DASH CONCEPT
一歩で抜き去る
GELBURST SLASH

NEW 4月下旬発売 **GELBURST SLASH**

TBF652 ¥16,800 (本体¥16,000)

■ カラー：0151 ホワイト×ミッドナイトネイビー・0193 ホワイト×サンライトシルバー
■ サイズ：23.5～30.0・31.0・32.0cm

株式会社 **アシックス**

新しいバーストの秘密は……………

アシックスで聞え

検索

携帯サイトOPEN!!

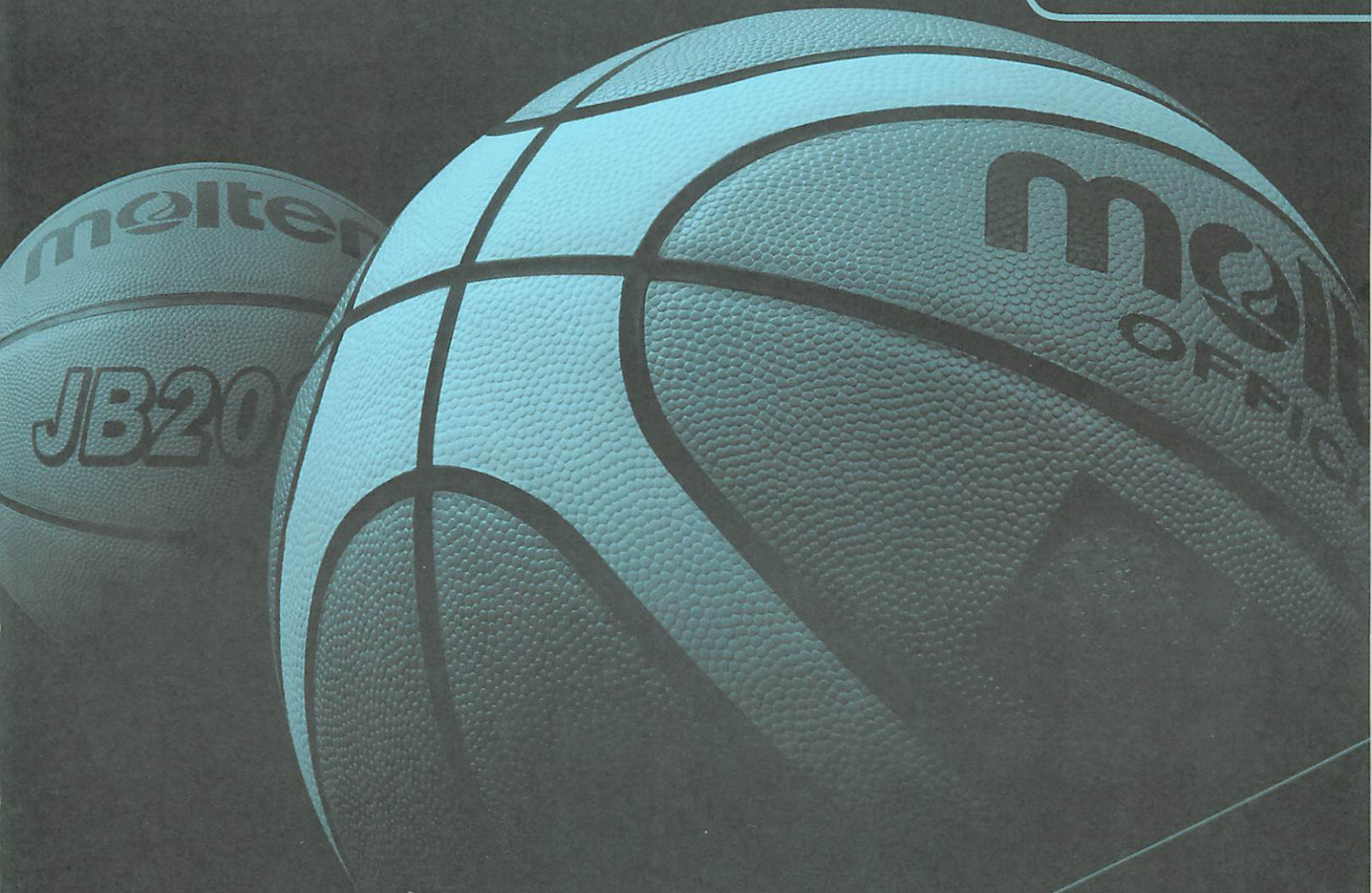


アシックスはバスケットボール日本代表チームのオフィシャルサプライヤーです。



アシックスシューズのストライプデザインはアシックスの商標であり、世界の多くの国で登録された商標です。
表示価格は消費税込みのメーカー希望小売価格です。()内は消費税抜きの価格です。商品についてのお問い合わせは「(株)アシックスお客様相談室」までどうぞ。
03-3624-1814、06-6496-5151 ※限定商品についてはお取扱いのない販売店、及び商品の数量に限りがありますのであらかじめご了承ください。

molten[®]
For the real game



For the real game

「プレーヤーの技術や意志が100%発揮される時、スポーツは本物になる」

私たちモルテン・ブランドは、この信念をもとに

世界に類のないボールと

スポーツエキップメント・メーカーとして

つねに完璧な製品づくりを目指しています。

本大会唯一の公式試合球

BGL7
GL7 国際公認球 検定球
貼り・天然皮革、7号球



www.molten.co.jp

株式会社 **モルテン** 東京本社 〒130-0003 東京都墨田区横川5丁目5-7

REUSE を考える

[環境の総合情報商社]

“地球にやさしく” どこかで見たような聞いたような言葉。

あなたはリサイクルに関心を持っていますか？

“地球環境をこれ以上汚したくない”これが私たちの願いであるとともに、人類に課せられた大きな課題です。

当社は携帯電話やパソコンなど、鉄を除いた金属（レアメタル）の回収、再生（リサイクル）を主な業務にしている会社です。

日本のバスケットボールの振興、発展を応援します。

リユース・ビズテック 株式会社

〒333-0842

埼玉県川口市前川2-33-1

TEL 048-263-7023

FAX 048-269-8009

代表取締役 永野 鉄洋